

OT 協会認知症アップデート研修

アップデート研修は、OT 協会が作成した研修要綱（下記参照）に基づいて、地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保するために、認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得することを目的としています。アップデート研修修了者は県士会のみでなく OT 協会でも登録され、国や自治体における認知症施策への作業療法士活用の推進を図っていきます。

【到達目標】

- ・世間一般の（世界、日本）の中で認知症の人が置かれている現状を把握している
- ・認知症の最低限の医学的、症候学的特徴を理解している
- ・BPSD への対応方法を、精神医学的（脳神経科学）、環境要因的、個人因子的視点から考えることができる
- ・最低限の治療・アセスメントについて知っている
- ・医療保険、介護保健、地域（家族支援を含む）における認知症作業療法の実践と課題について最低限のことを知っている

研修の構成	具体的内容・要点	時間
1. 世界および日本における認知症の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国および世界の認知症の現状 ・地域包括ケアシステムと認知症施策推進総合戦略 ・認知症ケアの歴史的変遷と将来展望 ・認知症に関する倫理的諸問題と権利擁護 ・認知症に関する社会資源 	30分 【必修】
2. 認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の変化と認知症 ・DSM-5 と社会的認知障害の理解 ・認知症の原因疾患（MCI、若年性含む） ・認知症と間違いやすい状態や疾患 ・認知症の重症度（評価と特徴） ・認知症の中核症状の理解（高次脳機能障害との関連含む） ・認知症における Impairment・Environment・Narrative ・認知症の悪化要因 	60分 【必修】
3. 行動・心理症状（BPSD）の原因・背景及び障害構造の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・行動・心理症状（BPSD）が出現する原因の理解 ・行動・心理症状（BPSD）と心理的要因・基本的対応方法 ・行動・心理症状（BPSD）の改善に向けた取り組み 	60分 【必修】
4. 医療保険関連領域における認知症対応の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症疾患治療病棟 ・一般病棟・重度認知症デイケアなど 	30分
5. 介護保険関連領域における認知症対応の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設・認知症短期集中リハ・在宅支援など 	30分
6. 地域支援関連領域における認知症対応の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援 ・一次および二次予防・認知症カフェ・社会資源活用など 	30分
7. 家族への支援と他（多）職種連携の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家族への個別支援、家族会活動 ・他職種との協働・多職種連携 	30分
8. 認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント ・マネジメント（申し送り含む） 	60分 【必修】